



【タイム】 ホの沢遡行開始(7:20)→終了(8:10)

### 鬼ヶ煩沢支流への沢

1989年9月9日

6:15遡行開始。沢幅は割とあるが、水量の少ない沢である。そのせいか沢には雑草が茂り、時々やぶこぎに近い状態になる。10分程遡ると、4mの滝が出てきた。この沢最大の滝である。左岸をシャワーで直登する。最初は簡単に登れると思ったが、ホールドは思ったより少なかった。

このあとしばらく暗い沢筋となる。そして3m最後の滝。右岸をシャワーで直登する。このあと沢はヤブでうまる。まだかなりの水量があるため、無理して突破したら、

その先でアッというまに流れがなくなってしまった。岩屑の下から大量に湧き出る水がこの沢の水源。八溝山系には湧水が多いとはいえ、ここの湧水は特に量が多い感じである。

(記)

【タイム】 への沢出合(6:15)→終了(6:50)

### 鬼ヶ煩沢支流トの沢

1989年9月3日

トの沢(仮称)は、林道小太郎線とほぼ並行して流れている。出合はちょっと深い谷を思わせるが、全体としてはなだらかな流れが続いている。滝は最大のもので3m。ここはホールドが無数といってよいほど多く、簡単に登れる。あと1~2mのが2個あるのみ。

源頭付近は、まだ新しい造林地である。植林されたばかり

